

高齢者支援（難聴高齢者等一体的支援事業、バス等利用助成事業）

アナ： 「市長が語る 2025 三島」第5回の今日は、「高齢者への支援」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 高齢者の社会参加や健康寿命の延伸のための支援はますます重要になると思いますが、どのような取り組みを進めていくのでしょうか。

市長： まず、令和7年度の新たな取り組みといたしまして、「難聴高齢者等一体的支援事業【通称：みみサポみしま事業】」を実施いたします。

この事業は、加齢による聴力の低下がコミュニケーション障害の原因となり、生活や社会参加の範囲を狭め、フレイルや認知症等のリスクを高める要因となり得るなど、高齢期の生活に及ぼす影響が大きいことから、誰もが住み慣れた地域での活躍が継続できるよう、加齢性難聴についての正しい知識の「普及啓発」や、聞こえの相談会などによる難聴者の「早期発見」、難聴の疑いがある方に対しての受診勧奨や補聴器購入助成を行う「早期介入」など、難聴高齢者を一体的に支援する事業を実施し、介護予防や生活の質の向上を図ってまいります。

アナ： 加齢性難聴への対応に取り組まれるんですね。具体的にはどのようなことをされるのでしょうか。

市長： まず、普及啓発として、リーフレットの作成や講演会の開催により加齢性難聴についての正しい知識の啓発を図ってまいります。

アナ： 講演会はいつ行われるのでしょうか。

市長： 講演会は、市内の補聴器相談医を講師にお迎えして、聞こえのケア等をテーマに5月21日（水）に生涯学習センター3階の講義室で行います。
また、その際に聞こえの相談会も実施いたします。どちらも先着順となり、5月9日（金）から受付を開始しますのでぜひお申込みください。
詳しくは広報みしま5月号をご覧ください。

アナ： 先ほど、補聴器購入助成と仰いましたが、それについて教えてください。

市長： 6月から、補聴器装用の効果及び助成制度の有効性の確認を目的として、補聴器装用についてのアンケートにご協力いただける方を対象に、補聴器購入費の1/2を片耳2万円、両耳4万円を上限に助成いたします。
加齢性難聴は、早い人では30代から始まると言われているため、今回は対象年齢を40歳以上とさせていただき、シニア世代のみならず現役世代にも活用していただきたいと考えております。
ホームページやチラシにより情報を発信してまいりますので、詳細はそちらをご確認ください。

アナ： その他にどのような取り組みをされるのでしょうか。

市長： 例年の取り組みといたしまして、70 歳以上の高齢者の外出を支援し、社会的、文化的活動などへの参加の促進を図るため、バス等利用助成券を対象者の方に郵送などにて配付しています。

アナ： どのような方に郵送しているのでしょうか。

市長： 新たにこの事業の対象となる 70 歳の方や 71 歳の方、また、タクシーでの利用が可能になる 75 歳の方や 76 歳の方には全員郵送しております。その他の方につきましては、前年 1 月から 12 月までの 1 年間に助成券の利用実績があった方や、今年度は、令和 6 年度中にお申し出をいただき交付した方につきましても、利用実績がなくても年度当初に郵送しております。

アナ： 郵送の対象とならなかった方は、どのように交付を受ければよいのでしょうか。

市長： 郵送の対象でない方でございまして、連絡をいただければ助成券を郵送いたします。助成券が届いていない方で交付を希望される方は、お手数をおかけいたしますが、長寿政策課 高齢者福祉政策室までご連絡くださいますようお願いいたします。

アナ： 助成券を活用して多くの方に外出してもらいたいですね。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。